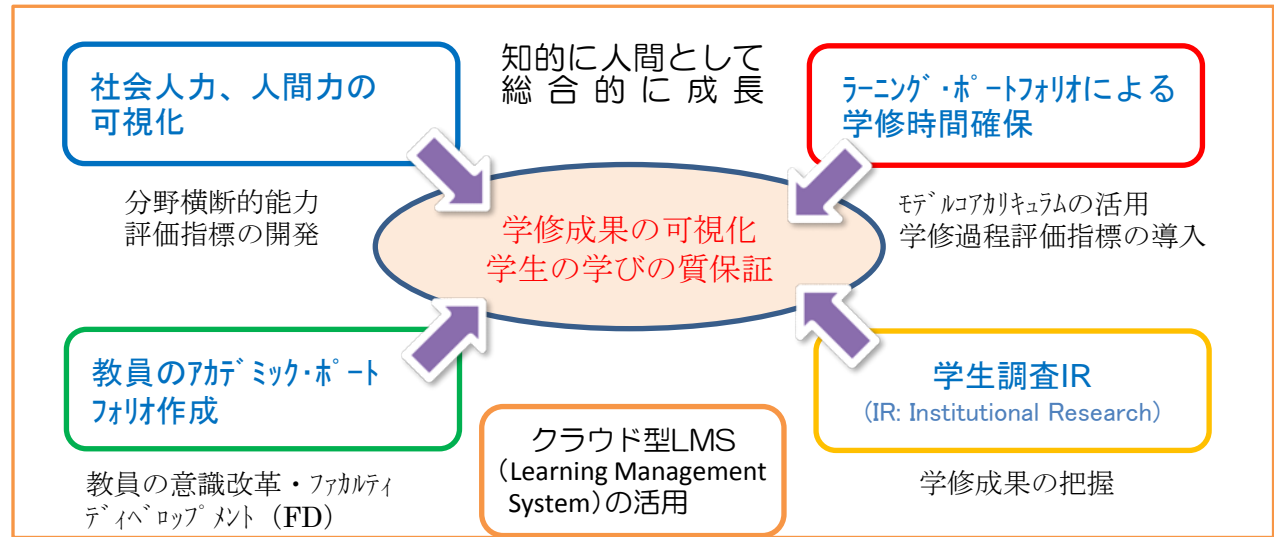


大学等名：阿南工業高等専門学校

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

学修到達目標の達成をめざし、ラーニング・ポートフォリオを活用した学修時間の確保、学修過程の評価指標導入により、学生の自発的な学修動機づけにつなげる。また、社会から要望の強い社会人力、人間力の評価指標を独自に開発し、その獲得能力を可視化できるようにすることで、学生は自身の成長を客観的に把握し自身のキャリア形成につなげることができる。学生が知的かつ人間として総合的に成長できる仕組みを構築するものである。

- モデルコアカリキュラム対応のドリルと小テストを多数こなすことで普段の学修から到達度目標を達成し、ルーブリックにより学修過程を成績評価する。
- 社会人力・人間力（分野横断的能力）を正課授業および正課外活動の学生生活全般について、ルーブリック評価し可視化する。
- 学生の学びの実態を把握し、データ分析結果を教育改善に活用する。
- 教員はアカデミック・ポートフォリオを作成し振り返りによる教育改善を確立する。



【事業の成果】

	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
学修過程の評価を実施する科目の割合	0%	50%	90%
学生の授業外学修時間	10時間未満	17時間	20時間
アカデミック・ポートフォリオ作成教員の割合	6%	15%	30%



・学生の学修動機づけが促進され、生涯学び社会を生き抜く技術者が養成される。
・学生生活全般から社会人力・人間力を可視化でき、学生のキャリア形成に有効となる。
・クラウド型LMSを活用することにより、授業改善が加速する。また教員は自身の活動の振り返りを学生指導にフィードバックできる。